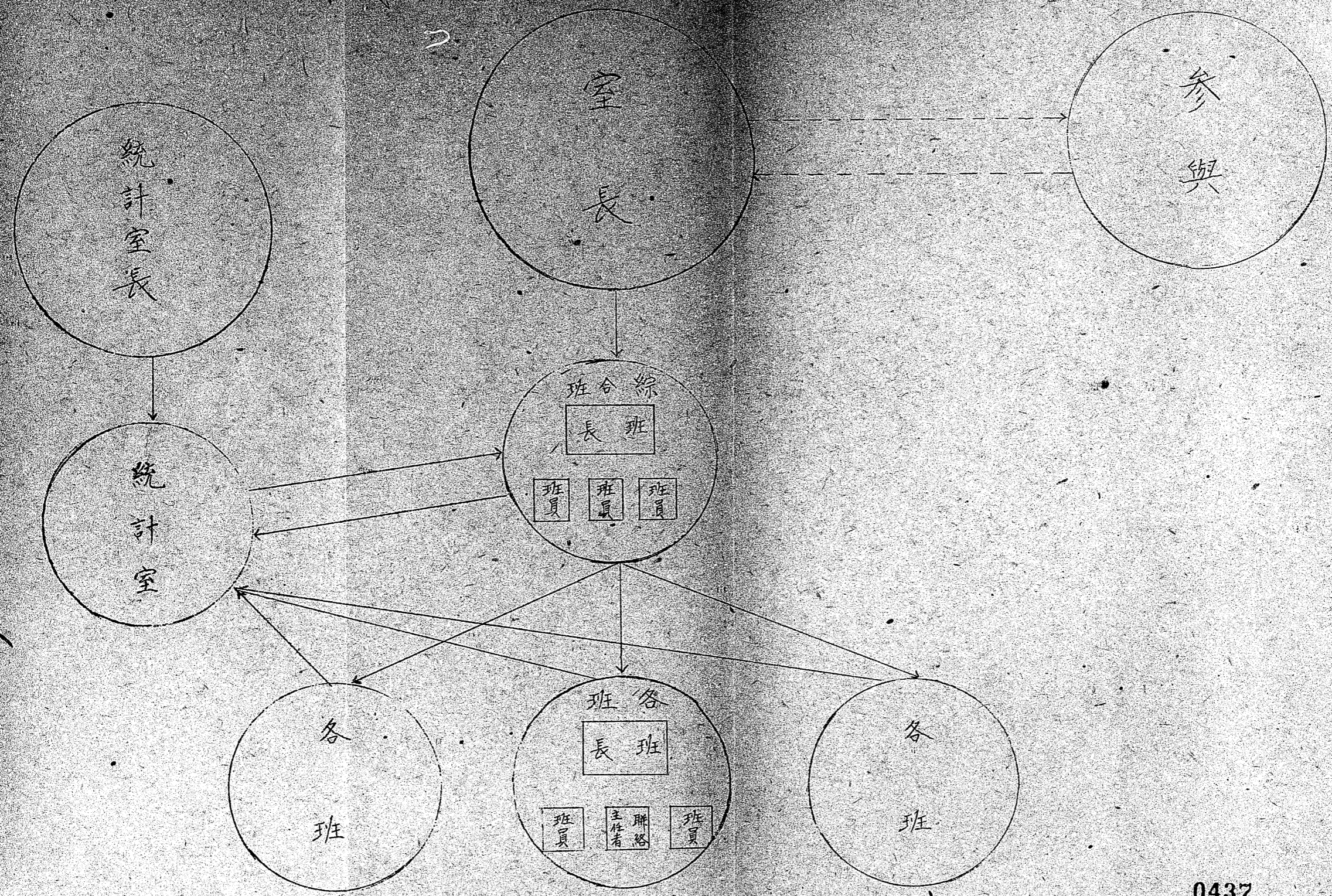


表 覽 一 長 班 室 查 調 時 臨 員 要 限 極 業 産 時 戰

班 名	班 長	名
1 綜 合 班	軍、總動員局勳員部第三課長	入江 弘
2 農 業 班	農、農政局經濟課長	平川 守
3 水 産 業 班	農、水産局漁政課長	三畑 參郎
4 金 屬 鑛 業 班	軍、非鐵金屬局鑛山第一課長	渡邊 誠
5 石 灰 鑛 業 班	軍、燃料局炭素課長	下河邊 長
6 製 鐵 業 班	軍、鐵鋼局製鐵課長	高橋 長之
7 輕 金 屬 工 業 班	軍、輕金屬局アルミニウム課長	山之内 二郎
8 航 空 機 工 業 班	軍、航空兵器總局勳勞連繼課長	小久保 詮三郎
9 船 舶 工 業 班	海、艦政本部總務部第四課長	安藤 錦之助
10 精 密 機 工 業 班	軍、機械局精密機械課長	大友 博
11 動 力 機 工 業 班	軍、機械局動力機械課長	武内 征平
12 陸 軍 機 工 業 班	軍、機械局陸軍機械課長	松田 武
13 兵 器 工 業 班	陸、兵器行本部總務部第四課長	阿部 三雄
14 一 般 機 械 器 具 工 業 班	軍、機械局機械課長	玉直 敬三
15 燃 料 工 業 班	軍、燃料局企業課長	中田 佐一郎
16 無 機 化 學 工 業 班	軍、化學局無機課長	相 正太郎
17 有 機 化 學 工 業 班	軍、化學局有機課長	桐山 喜一郎
18 合 成 化 學 工 業 班	軍、化學局合成課長	中島 征帆
19 電 氣 業 班	軍、電力局計畫課長	三井 新次郎
20 織 維 工 業 班	農、織維局計畫課長	柴野 和喜夫
21 林 業 製 材 業 班	農、山林局企業課長	山内 俊文夫
22 食 料 品 業 第 一 班	農、食糧管理局總務課長	幸田 午六
23 食 料 品 業 第 二 班	農、生活物資局管理課長	大里 忠二
24 日 用 品 業 班	農、物價局統制課長	相島 清
25 土 木 建 築 業 班	軍、總動員局監理部勳勞課長	増原 惠吉
26 金 融 業 班	入、銀行保險局總務課長	伊 達 宗 彰
27 接 客 業 班	入、官保局警務課長	高橋 扇彌
28 運 送 業 班	運、鐵道總局總務局整員課長	谷上 實
29 海 運 業 班	運、海運總局總務局總務課長	小池 行政
30 通 信 業 班	運、通信院總務局要目課長	甲村 俊一
31 公 務 班	入、内閣官房人事課長	三橋 則雄
32 教 育 示 教 班	又、總務局總務課長	中根 秀雄
33 醫 療 衛 生 班	厚、衛生局醫務課長	金山 國治
34 賃 借 證 券 製 造 業 班	大、理財局國庫課長	松崎 健吉
35 出 版 印 刷 製 能 班	信、報局印刷製能課主任	林 馨
36 雜 産 業 班	厚、勳勞局企業課長	三川 亮己

成構室查調件臨



0437

参考

項目別 産業別	昭和十九年 人口調査結果	現 在 数							労働管理進 二 交替制 工程管理程度 実 施 程 度	単位生産量(業 務量)ニ要スル 従業者構成又 ハ標準工場率 ニ於ケル 従業者構成
		現 在 数			女子比率 %	出勤率 %	作業時間 時	移動率 %		
		總 数 人	兵籍者数 人	技能者数 人						
A 産業	男	700	600							
	女	300	200							
	計	1000	800							
a 産業	男		400							
	女		100		20					
	計		500			85	9.0	40	未実施	
b 産業	男		150							
	女		50		25					
	計		200			82	8.5	35	未実施	
c 産業	男		50							
	女		50		50					
	計		100			88	10.0	20	未実施	
備考			兵籍者数ハ 現在数ノ内 数トスル	技能者数ハ 現在数ノ内 数トスル		出勤率ノ算出ハ (出勤者延数)÷ (在籍者-応召 入営者+公休前 延数)ニヨル	作業時間ノ算出ハ (実作業時 間延数)÷(出 勤者延数)ニ ヨル	移動率ノ算出ハ (解雇者数)÷ (在籍者-応召 入営者)ニヨ ル但シ解雇者中ニハ 応召入営ニヨリ ノ算入ス		

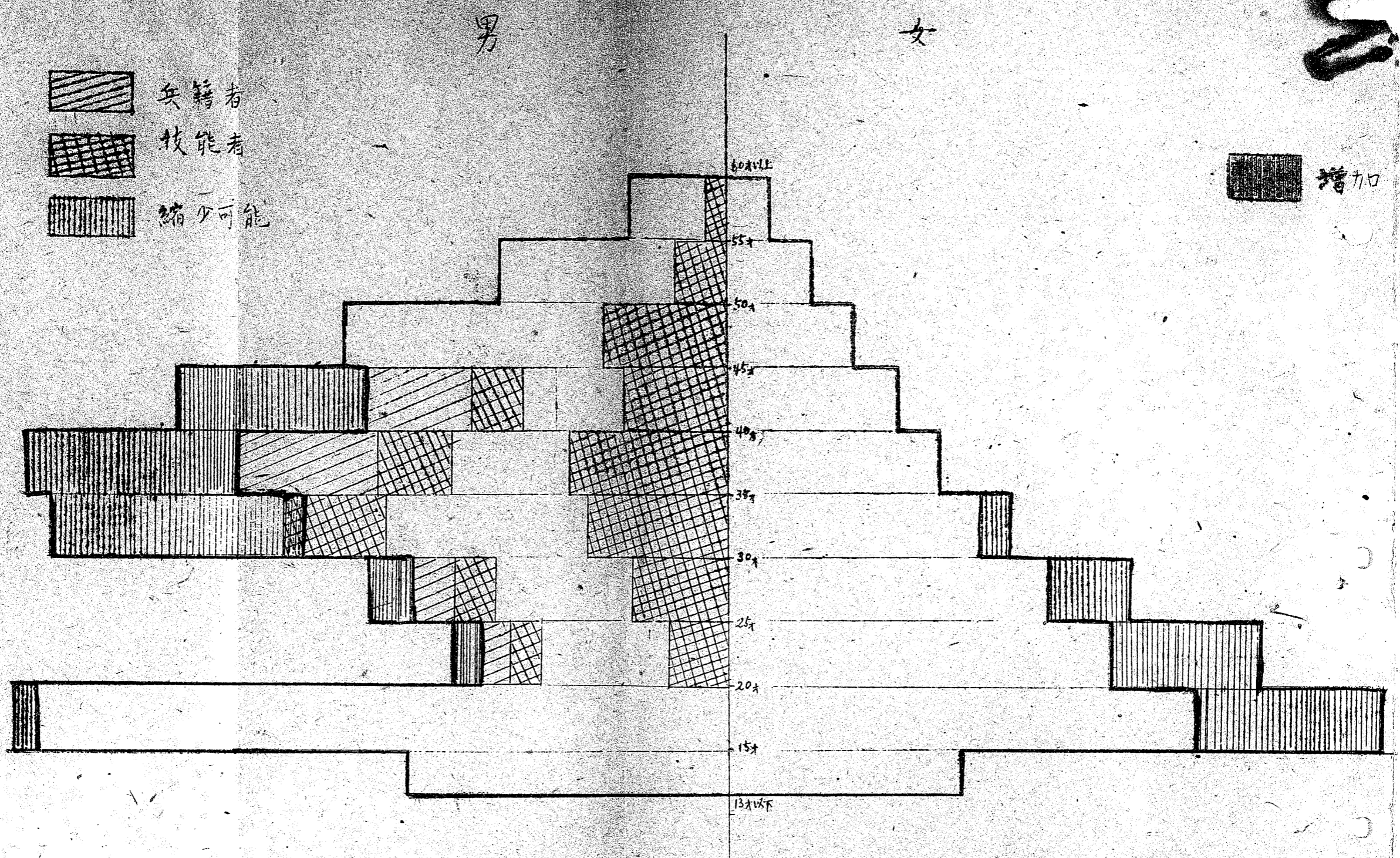
項目別 産業別	生産状況					極限					
	18年度実績	19年度計画	18年度	19年度	資材 入手速度	原材料品位及 製品規格変更	生産計画=ヨル	生産量以外/ 要素=ヨル影響	出勤率向上=ヨル	作業時間延長=ヨル	移動率縮減=ヨル
			設備能力	設備能力			労務者増減 人	労務節約量 人	労務節約量 人	労務節約量 人	
A産業											
計	総	総	総	総							
	100	80	150	△20		△80		△8		△16	
B産業											
計	50	60	60	現状通り		30		△7		△3	
						10		△2		△1	
C産業											
計	50	90	80	現状通り		40		-		-	
						40		-		-	
備考						80					
								A業種=於テハ 2% B業種=於テハ 5% 引上グモトス		A業種=於テハ 10% B業種=於テハ 5% 引下グモトス	

(假定)

(假定)

項目別 産業別	勤労管理地 工事管理改善 労務節約量	要 員 量			總所要数 人	女子高年齢 若代若年 總所要数 人	總所要数 対現在数 比率 %	極 限 要 員 量		
		二 交替制 実施程度	技能者 標準保有量					總 数 人	兵籍者 数 人	技能者 数 人
A 産業	男				556	481	80	560		
	女				221	313	156	468		
	計				777	794		1,028		
a 産業	男				296	231				
	女				74	154				
	計		未実施		370	385				
b 産業	男				170	160				
	女				57	69				
	計		未実施		227	229				
c 産業	男				90	90				
	女				90	90				
	計		30%		180	180				
備 考										

①女子比率ハ
a 業種ニ於テハ
40%
b 業種ニ於テハ
30%トシ
②女子能率ハa,b
業種共男子ノ80%
トス
(假設)



0441

一 意見

孫令子力均術下ハ調程ハ必スニ 産業別均術
可ハ此之 均令ヨリテ 各者下要別均術下ハ調程
ニテ可ナクヤ

故ニ A B D 一ノ如キ 本産業分類ニテ又可能也

方指福ニテハ必スニ本業ニ依テ 一極ニ至 既ニ各者

下業ニ依テ確ニシテ 孫令別均術下ハ 自是之見ニ

ハヨク下リ 今ハ此等程以降 厚生者ニ至 統計的

資料ニテ又ハ可能ナリ

目的ハ明ク下リ 右ノ方指下ハ均術ニ至 均術ニ至

0442